



# さんが

第 八 四 号

平成 二 七 年  
西 曆 二 〇 一 五 年  
正 月 号

曹洞宗 東運寺

京都市伏見区淀新町六一八一  
TEL 〇七五-六三一-二二七二  
FAX 六三一-五七二五  
E-MAIL [sanga@tounji.net](mailto:sanga@tounji.net)

# 謹 賀 新 年

## 玉龍山東運寺

住職 柳田彰宣

東堂 泰明

寺族 マヤ

妙子



画 妙子



いよいよ今年から、横浜の大本山  
總持寺において、初代住職瑩山(け  
いざん)禅師と二世峨山(がさん)  
禅師の大遠忌(五十年に一度のご  
法事)が始まります。

「相承(そうじょう)」と題された、十年をかけて行  
われる大行事です。何百年もかけて脈々と伝えられ  
てきた精神を、現代に生きる私たちが受け継いでい  
くことをテーマに据えています。

今年は、まず峨山禅師六百五十回忌の法要が年間を  
通じて行われます。東運寺もふくめ、京都からは七  
月初旬にお参りする予定です。

ご本尊さまのもと、東運寺も新しい年をむかえ  
ました。檀信徒皆さまのご多幸を、心よりお祈  
り申し上げます。

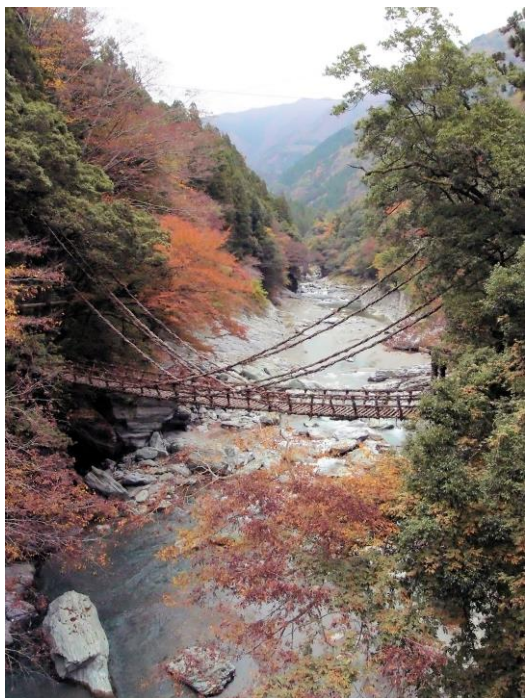
## 団参に行ってきた

昨秋、十一月十三日から十四日にかけて、恒例の檀信徒参拝旅行に行ってきた。

今回の行き先は四国です。淡路島を通過して徳島県に入り、まず、「阿波の法隆寺」と呼ばれる曹洞宗丈六寺にお参りしました。その後は祖谷溪温泉でゆっくり。

二日目はスリル満点のかずら橋から名勝の大歩危へ。およそ三十名でバス一台。いつも来られている方も、新しく参加された方も、なごやかな雰囲気のもと楽しい道中を満喫いたしました。東運寺からも、住職夫婦と女性一名が参加しました。

道中の写真をホームページで公開しています。ぜひご覧下さい。



日本三奇橋のひとつ「かずら橋」  
足下の大きな隙間から、14m下の川面が覗けます。

## 「お忘れもの」お預かりしています

昨年の秋彼岸のおりお忘れになった、「女性用の帽子」をお預かりしております。



↑ 黒い帽子です  
お心当たりの方は  
お申し出ください

☆ ☆ ☆

東運寺の住職を拝命して、はや五年あまりの年月が過ぎました。その間には、大行事である晋山式もぶじに終わることができました。これもひとえに、常にお支えいだいていらっしゃる皆さまのおかげと、深く感謝しております。

これからの社会、どんなことが変わらなく続き、どんなことが大きく変わるのか、予想が難しくなっていくそうです。そんな中、お寺もどんなことを変えたいか、どんなことを変えていく必要があるのか、じっくりと探していきたいと思っています。



↑ ホームページこちらからも